

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		スーパー（店長）	・昨年より暑さが早く来ているため、殺虫剤、そうめん、ジュース、アイスなどの商品の動きが良く、引き続き購入も増える。
		通信会社（営業担当）	・新商品の発売、新規出店、キャンペーン等により販売数が増加する。
		通信会社（支店長）	・各社共、夏商戦に向け新商品が続々販売開始になり、徐々に来客数も増えている。
	変わらない	設計事務所（所長）	・最近、住宅よりも、工場・店舗等の業務が若干増えている。
		百貨店（営業担当）	・良い物・欲しい物はたくさん出しても買うという傾向が続いており、今後も続く。
		百貨店（営業担当）	・リビング、リラクゼーション、食品等の商品が好調であるが、ファッション商品が不調である。特にキャリア商品は、来客数が増加はしているが購入にまでは結び付かない。
		スーパー（店長）	・ガソリンの値上げや、雨が降らないことにより野菜が高くなる可能性などから考えると、なかなか景気は上向いて来ない。
		スーパー（財務担当）	・少雨による水不足は青果物への影響が大きく、先行き売上への影響が懸念される。
		衣料品専門店（経営者）	・各店舗共フリー客の入店率が顕著に低下しており、既存顧客への働きかけ、客単価アップ等でマイナス分をカバーしようとしているが、前年割れの状況はしばらく続く。
		乗用車販売店（営業担当）	・車両展示会への来客数が前年を大きく下回っており、景気が良くなるような要素は全くない。
		住関連専門店（経営者）	・販売量が伸びない状態がずっと続いている。
		観光型旅館（経営者）	・現在、道後地域で稼働状態が良くない。長期的には「坂の上の雲プロジェクト」等で期待が持てるが、当面は良くならない。
		旅行代理店（従業員）	・5月は順調であったが、現在の相談・予約の状況から判断して、これから先夏休みにかけても活況を呈する。
タクシー運転手	・病院等への通院、夜の飲食が減っている。週末では、金曜日は地元の人、土曜日は県外からの出張者と観光客の飲食によるものだが、タクシー利用度は土曜日が減っている。前年比で25～30%の売上減少となっている。		
ゴルフ場（従業員）	・先の予約状況も、今の時点では変化がない。		
住宅販売会社（従業員）	・ここ数年、土地・建物合わせて契約の客が増えているが、愛媛県は非常に地価が高いということもあり、販売量は伸びない。		
やや悪くなる	商店街（代表者）	・夏物の出が非常に遅く、6～7月上旬ぐらいまでは非常に悪い。	
	衣料品専門店（経営者）	・6月から個人住民税が引上げになるなど、購買意欲を減退させる事が多い。	
	乗用車販売店（従業員）	・ガソリンが再び値上がりの傾向にあり、小型車の販売は厳しい。	
	都市型ホテル（経営者）	・予約状況があまり芳しくない。	
	設計事務所（職員）	・同業の決算状況や雇用状況を見ると、経営規模の縮小傾向はますます顕著になってきており、給与のペアなし、役員手当カットは当たり前である。全体の仕事量も更に減少しており、特に今後上半期の受注量・販売量の停滞が確実である。	
企業 動向 関連	悪くなる	-	-
	良くなる	-	-
	やや良くなる	木材木製品製造業（経営者）	・新商品の拡販、新規得意先の開拓で、だいぶ良くなる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・4月ごろから、国内はもとより海外からの受注も増え、また先の予約もあることから、良くなる。
		建設業（総務担当）	・ある程度の受注残高確保のめどが立ったため、今後は赤字覚悟の競争に巻き込まれることはなくなる。
通信業（支店長）		・新商品の発売、キャンペーンの実施により需要が喚起される。	

	広告代理店（経営者）	・東京、名古屋近郊のフリーペーパーの受注が増え、また、それぞれのボリュームが上がってきているため、引き合いが増えている。	
変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	・首都圏において、圏央道・羽田拡張などの大型プロジェクトが予定されており、建設・電力共にこれから工事が本格化するなど、一部の地方は除くものの、全体的なクレーン稼働状態は今後も底堅く推移する。	
	金融業（融資担当）	・人員削減や倒産による失業者が増加しており、明るさは全く見えて来ない。	
	不動産業（経営者）	・客・価格共に非常に動きが悪い。また、求めている価格も以前に比べると低くなっている。	
	広告代理店（経営者）	・依然として地元資本の得意先からの広告受注は厳しいが、新規大型ショッピングセンターの販促受注もあり、全体としては変わらない。	
	公認会計士	・各会社の社長と話をする、まだ設備投資について慎重な意見が非常に多い。消費が上向きになってないということが一番懸念しているようで、景気はまだ回復途中にある。	
やや悪くなる	輸送業（役員）	・落ち着いていた原油価格も、5月以降再値上げで推移しており、コスト転嫁も望めない。	
	輸送業（支店長）	・6月も軽油が値上がりし、先行きは一層の不透明感と不安が漂う。	
悪くなる	-	-	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・好景気にある造船関連の採用PRの高推移と、お盆時期に向けてのUターン転職希望者へのPRなど、企業の求人意欲が向上してくる。
		民間職業紹介機関（所長）	・通年採用を希望する企業が多くあり、求人意欲の減少は見られない。
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	・販売・営業のオーダーは多いが、事務系のオーダーは落ち着いている。
		求人情報誌製作会社（従業員）	・求人数・求職者数共に安定感が感じられるため、例年のような夏場の人材不足や雇用企業の急激な増加等はない。
	やや悪くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・調子の良い業態が見当たらない。収入の目減り傾向も続いており、消費の上向きも期待出来ない。
		職業安定所（職員）	・新規求人数についても、減少傾向が7月より連続しており、今後も増加に転じる強い要因が見当たらない。
悪くなる	-	-	